

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和6年3月1日

事業所名 RU

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	複数の指導訓練室があり、児童の人数に対して余裕のあるスペースを確保しています。また、訓練室ごとに活動を分けられるため、様々な活動に取り組める環境作りができています。	今後も適切なスペースを確保しながら、様々な活動や訓練に取り組むことができる環境作りを行っていきます。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基準を満たし、余裕のある人員配置を行っています。	人員配置基準を満たすことはもちろん、様々な職種のスタッフを配置し、多角的な視点で支援を行うことができるよう努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	事業所内は一般的な住居と同じような造りであり、特別なバリアフリー化は行っていませんが、室内での歩き方や過こし方などを考えられるような支援や配慮を行っています。	事業所が建物の2階に位置しているため、事業所に来るまでに階段をのぼる必要があるため、児童の様子や特性に合わせてより安全な移動を行うことができるよう配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	・入社時にPDCAサイクル及びOODAサイクルの考え方についての研修を行っています。 ・また、日々のミーティングの中でPDCAサイクルを意識した支援の検討を行っています。	今後も全てのスタッフが主体的に考え、児童1人ひとりに合った支援や関わり方を検討し、実行していきたいと思えます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	全家庭に向けてアンケートを実施しています。結果をもとに業務改善に向けた検討を行っています。	今後もアンケートを実施し、各家庭のニーズを汲み取ると同時に業務改善に繋げていきたいと思えます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	必要に応じて外部の評価を取り入れる予定です。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	各テーマに沿った事業所内研修を定期的に実施しています。	今後も継続して研修を行うことで、スタッフの支援の質の向上を目指していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者の方だけでなく、児童にも聞き取りやアンケートを行っており、その内容も計画書に反映するようにしています。	今後も適宜アセスメントを行うことで、児童や保護者の方のニーズを汲み取り、児童の実態に合った計画書の作成を行っていききたいと思います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	アセスメントシートやアンケートなどを用いてアセスメントを行っています。	必要に応じてアセスメントツールの見直し等を行いながら、児童の実態把握を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	全てのスタッフが活動内容を把握し実施できるようにしています。	今後も全てのスタッフが関わることで、様々なプログラムを組むことができるようになっていきたいと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	活動内容に偏りが出ないよう、複数のスタッフでプログラムを組むようにしています。	今後も全てのスタッフが関わることで、様々なプログラムを組むことができるようになっていきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日や休日、長期休暇など、その時の状況に合わせた支援内容を考えて実施しています。 学校休業日には社会体験活動に取り組む機会を多く設け、様々な経験を積むことができるようにしています。	今後も課題や目的を明確にし、様々な場面や状況に合わせた支援を提供することができるようにしていきたいと思えます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児童の様子や状態を常に把握し、その時の状態や状況に合わせた支援内容を検討し、実施しています。	今後も児童の様子や状態に応じて、適切な関わりや支援を提供することができるようにしていきたいと思えます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	利用児童の確認や活動等の確認を行っています。	今後もスタッフ間の報告・連絡・相談を徹底し、より良い支援の提供を行っていききたいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	その日の児童の様子や状態、連絡事項など共有するようにしています。また、事業所内の連絡ツールを用いることで、全スタッフが内容を共有することができるよう配慮しています。	今後もスタッフ間の報告・連絡・相談を徹底し、より良い支援の提供を行っていききたいと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	入社時に支援経過記録についての研修を行い、支援経過記録の必要性や書き方などを学ぶ機会を設けています。支援経過記録等を元に支援の方向性を検討しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングを行っています。またアセスメントについても適宜行い、児童の実態把握に努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	100%	0%	自立に向けた支援、創作活動、社会体験活動、余暇活動など、児童の実態に合わせた様々な活動を取り入れています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者だけでなく、直接支援を行うスタッフについても参加できるような機会を設けています。	今後も状況に合わせて、より多くのスタッフが参画できるような機会を作っていききたいと思います。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	学校関連の情報共有及び連絡調整については、学校側の意向もあり保護者の方を通して行っております。	必要に応じて学校との連携を取ることができるようにしていきたいと思っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%	現在、該当児童なし。	現在、該当児童がいないため、具体的な連絡体制は整えられていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	現在、該当児童なし。	今後、連携が必要な場合には積極的に情報共有を行っていききたいと考えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%	現在、該当児童なし。	今後、連携が必要な場合には積極的に情報共有を行っていききたいと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	必要に応じて連携を取ることができるよう、情報収集を行っています。	必要に応じて関係機関との連携を取ることができるようにしていきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%	80%	時期を問わず、様々な感染症が流行しているため、積極的な交流は控えています。事業所内で行事を行う際には、行事の内容に応じてご家族や兄弟姉妹を招待しています。	今後の状況をみて、障がいのない児童との交流や活動の機会についても検討していききたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%	積極的な参加は行っていません。	自立支援協議会には関心がありますが、積極的な参加は難しい状況です。自立支援協議会の活動などを活用していききたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・利用ごとに連絡帳や送迎時にその日の様子をお伝えしています。連絡帳や送迎時に伝えられなかったことは、電話やLINE等でお伝えするようにしています。 ・相談事がある際には、保護者の方からもご連絡をいただけるので、情報共有を行うことができます。	今後も日々のやり取りや面談等を通して情報共有を行い、共通理解のもと、適切な支援や関わりを行うことができるようにしていきたいと思っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	必要に応じてお子さんとの関わり方や支援の方向性などについて相談及び助言等を行っています。	個別の相談や面談だけでなく、希望があれば保護者会等においてペアレント・トレーニングのような機会を設けることができるよう検討していききたいと思います。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	利用開始時に行っています。	利用開始時及び必要に応じて説明させていただきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	必要に応じてお子さんとの関わり方や支援の方向性などについて相談及び助言等を行っています。	今後も利用児童への支援だけでなく、ご家族みなさまに安心していただけるような支援を提供していきたいと思っています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	20%	夏祭りやボウリング大会など、定期的に保護者参加型の活動を行っています。	保護者の方の意向を確認しながら、交流を持てるような機会を検討していきたいと思っています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	事業所の対応に対して疑問や不安点がある際には、保護者の方からすぐにご連絡をいただけるため、早期に対応・検討することができるよう努めています。 検討内容や改善策をお伝えし、真摯に対応させていただいています。	今後もご意見やご要望があった際には、真摯に対応させていただきます。 また、疑問や不安につながるような丁寧なやり取りを心掛けてまいります。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・通信を発行し、日々の支援に繋がる内容や連絡事項、行事予定等をお知らせしています。 ・また、Instagramでは行事や日常の様子を写真でお知らせしています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%	・外部の方及び児童がいる場面においては、個人情報漏れのような対応、会話等は行わないよう徹底しています。 ・個人情報を含む書類は鍵付き書庫で保管しています。また、不要な事業所外への持ち出し等がないよう徹底しています。 ・写真等の取扱いについても、事前に確認を行い、各児童ごとに対応しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・児童や保護者の方とお話をする際には、難しい言葉は使わずに伝わりやすい言葉や内容でお伝えするよう心掛けています。 ・連絡事項等がある場合には、電話やLINEなどを活用し、ご家庭に合わせた連絡方法で情報共有を行っています。	今後もより安心して利用していただけるよう、それぞれの児童や保護者の方に合わせた丁寧なやり取りを心掛けてまいります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	時期を問わず、様々な感染症が流行しており、積極的な交流は控えていますが、地域の方々には様々な面で世話になることもあり、事業所や児童のことも気に掛けていただいています。	今後は地域の方々のご協力に感謝し、状況をみて、地域の方々との交流の機会についても検討していきたいと思っています。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各マニュアルを策定し、事業所内で周知しています。また、必要に応じて保護者の方にもお渡しし、連携を取ることができるよう努めています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	災害や非常事態等の様々な場面を想定し、年に2回以上、避難訓練を実施しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	事業所内での研修を実施するとともに、日頃から意識して支援にあたることのできるよう周知徹底しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束に関する指針を策定しています。 現在、身体拘束が必要となる場面が想定される児童はいないため、具体的な運用は行っていません。	身体拘束に頼らない支援を行うことができるよう、スタッフの支援の質の向上を目指していきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%	現在、該当児童なし。	必要に応じて医療機関等との連携を取ることができるようにしていきたいと思っています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有及び再発防止策の周知徹底を行っています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。